

相続による不動産取得は

非課税・申告は

三十日以内に

納税義務者

不動産取得税とは、不動産の取得に対し、その取得者が納税する県税です。

課税対象

不動産とは、土地および家屋をいい、その取得とは、土地および家屋についての所有権を得ることで、有償であると無償であるとを問わず、また取得の原因が売買、交換、贈与、寄付等の別を問わないものであります。しかし、相続による不動産の取得等については、非課税とされています。

申告

不動産を取得した場合は、県税条例により、不動産を取得した日から三十日以内に不動産取得申告書を当該不動産の所在地の市町村を経由して、知事に提出していただく事になっています。申告用紙は役場にあります。

住宅を新築する土地に対する減額

土地を取得したものが、その土地を取得した日から二年以内またはその土地を取得した日の前一年の期間内に、住宅を新築

したり、新築していた場合には不動産取得税の特例として、評価額から百五十万円か、土地の一平方メートル当りの価額(課税標準額)を取得した土地の面積で除した額(住宅の床面積(百平方メートルを限度とする)の二倍の面積を乗じた額が、いずれか有利な額が申請により減額されます。住宅を新築中の場合は、取得の日から二年以内の期間に限り、減額される額に相当する税金の納税が猶予されます。該当する場合は、納期前に建築確認申請書または、工事請負契約書等を支庁等へ提出して下さい。

新築住宅の取得に対する特例控除

昭和四十八年度の地方税法の一部改正により、昭和四十八年一月一日以降、住宅を建築(建築住宅の購入を含む)取得した場合には、不動産取得税の税率は、百分の三です。不動産の価額は、市町村の固定資産課税台帳に登録されている固定資産の価格です。ただし、価額が登録

昔の風習

今は公害

七月十六日の早朝に新聞紙に包

されていない場合は、知事がその価格を決定することになります。なお、詳しいことは、お近くの支庁税務課または、県税事務所にお問いあわせください。

んだ小さな物を、屋根橋の上から、川にポンポンと投込んでいる人があった。何か悪い事をしような顔をして急いで帰って行った人達を七、八人見掛けた。私は十分ばかり見ていてそのまま帰ってきたが、後からも川に捨てて人達のあることは凡そ想像出来た。光町側には「川は我々のもの、汚さぬように」というような標語が、四、五本海岸まで所々立ててある。看板が苦笑

共済見舞金

死亡 五十万円
傷害 三千円から二十万円迄
身障 一、二級の身体障害 十万円
加入の申し込みは
役場総務課(八月三十一日迄)
中途加入はできません。

対象となる事故

自動車、電車、
自動車等の交通機関により
災害にあり、

共済に加入を

たは、保育園
児は学校もしくは保育園でま
とめて加入します。
加入できる人
県内市町村に住居登録、外国
人登録をしてある人
加入の期間
九月一日から翌年八月三十一
日まで
その他詳細については、役場総
務課におたずね下さい。

いしているようである。御盆に、仏に供えた品を川に捨てて風習は、いつ頃から行なわれたか知らないが、今日でも之を律義に守っている人達は、何という心掛けだろう。悪魔払いの心算なのか、河川の浄化活動を何と心得ているのか。尤も川の無い部落には、こんな風習はあるまい。

明治時代の栗山川なら、此位の廃棄物は自然浄化されて、悠々と流れる川に多少の風情があったかも知れぬが、今日では非常識も甚しい人達である。感心なのは、お菓子、果物は捨てない所を見ると、それは人間がいただいて食えないものだけを、川に流して悪魔払いをする心算かも知れないが川が汚染されることだけは、先ず間違いないと見受ける。啓蒙すべき一つと思われる。

Y・K

